

事業所名 児童発達支援事業きだっこ

公表日 令和8年3月31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・チームごとに活動内容を分けて、のびのびと活動できるように環境を整えている	・12名の利用があるときに同じ活動を設定すると十分な活動スペースが取れなくなっている
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・職員同士で連携を取り、職員の動きの工夫をしている	・研修や会議への参加等で、利用児の活動に対して足りていないと感じる時がある ・午後の遊びと職員の休憩が重なっているため、午後の療育の内容が薄くなってしまふ
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・チームごとに部屋をわけていて、利用児のマークを貼り、自分の部屋がわかりやすくなっている ・窓の鍵や電気のスイッチの位置に利用児の手が届いてしまうので、カバーをして触れないようにしている	・コンセントや電気のスイッチの位置に利用児の手が届いてしまい、事故に繋がる危険がある ・トイレを使う時の利用児のブライバシーの配慮ができていないので、パーテーションを使い、空間を区切りたい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	4	・利用児の訴えがあったり、パニックになったりするとき集団から離れて一人になれる空間を用意している	・自分からクールダウンしに行ける空間を用意したい ・パーテーションの活用がうまくできていない
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1	・毎月の児発職員間での会議やミーティング時に振り返りをおこなっている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	・昨年度おこなった結果を踏まえて、業務を改善している	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		・支援計画に沿っているか、その都度確認ができていない
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	・アセスメントツールとして、『遠城寺式・乳幼児分析的発達検査表』を活用している	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎朝、打ち合わせを行い、活動内容や利用児の情報、職員の動きをホワイトボードに書いて、後から出勤する職員にも情報が伝わるように工夫している	・支援のねらいについて、確認ができていないときがある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	・ペアを組んでいるパート職員には、チーム日誌を使い、支援の内容や利用児の様子を共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	・センターから巡回相談の機会があったが、今年度は、センターが行う研修会への参加を通して、助言を受けた	・そのような機会があるのか把握できていない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・毎月、地域の保育園と交流し、一緒に遊ぶ機会がある	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・今年度より、対象学年を絞ってペアレント・トレーニングを実施し、保護者同士で交流したり、学んだりする機会を設けた	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・面談や保護者参観を実施し、保護者の悩み等の相談に対応している	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・ペアレント・トレーニング実施日にきょうだい児を託児し、利用児との交流をおこなった	・運動会等の行事にきょうだい児を誘っているが、今年度はきょうだい児が低年齢のため参加がなかった
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・施設全体で9月に『ぼかぼか広場』を開催し、地域の方へ事業を紹介したり、交流の場を設けたりした	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・現在はアレルギーの指示書が必要な利用児はいないが、アレルギーがある利用児は一覧表にまとめてある	・アレルギー、既往歴の一覧表がすぐに見えるところに置いていないため、見やすい場所に掲示する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		・年度初めに保護者には説明をしているが、年度途中の入所児には説明ができていないので、契約時に丁寧に説明をおこなう
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	・気づきメモを活用し、ヒヤリハットを共有している	・ヒヤリハットのみを集めたファイルはないため、危機管理の意識が低いと感じる。ヒヤリハットを職員間で共有できる工夫を考えていきたい
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・子ども性暴力防止法の施行を受けて、今までの虐待の芽チェックリストを見直し、項目を追加した。これから活用していく。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	・身体拘束が必要な利用児はいない		